

# 平成21年3月期(第12期) 第1四半期決算説明会

平成20年8月8日

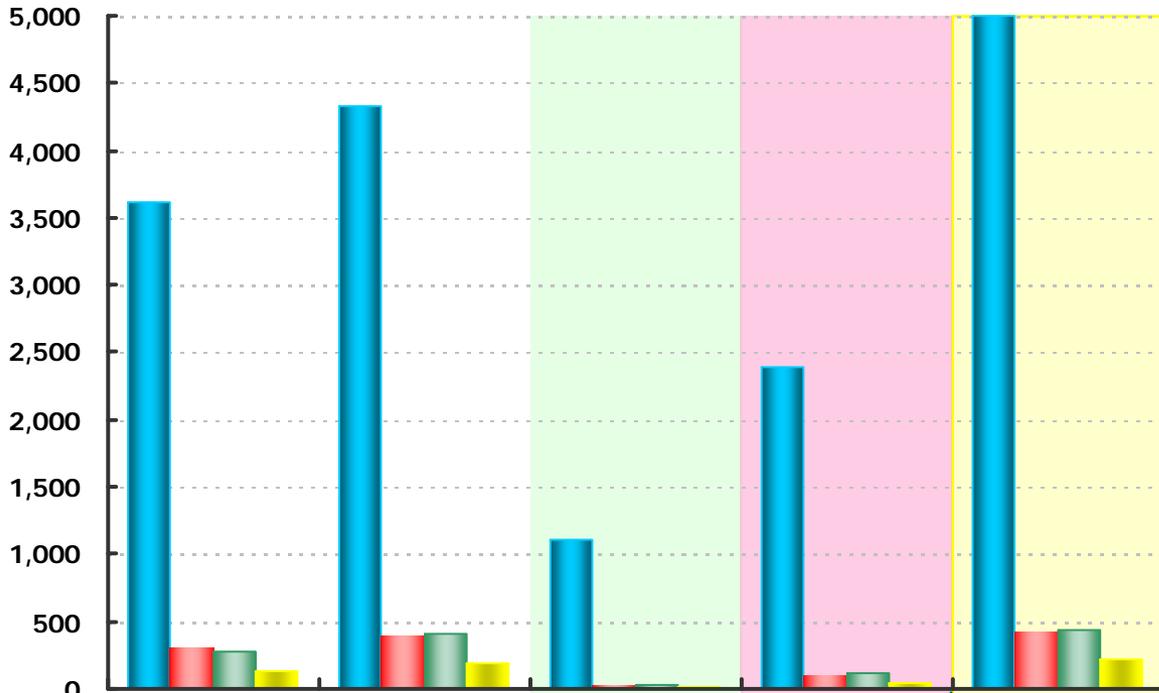
株式会社Jストリーム

# 連結決算ハイライト P/L

	21. 1Q	20. 1Q	増減比
売上高	1,104,237 (100%)	944,642 (100%)	(+16.9%)
売上原価	657,483 (59.5%)	543,385 (57.5%)	(+21.0%)
売上総利益	446,753 (40.5%)	401,256 (42.5%)	(+11.3%)
販売費及び 一般管理費	411,992 (37.3%)	396,433 (42.0%)	(+3.9%)
営業利益	34,760 (3.1%)	4,822 (0.5%)	(+620.9%)
経常利益	24,899 (2.3%)	△315 (△0.0%)	—
税金等調整前 四半期純利益	31,576 (2.9%)	2,861 (0.3%)	(+1,003.7%)
四半期純利益	9,174 (0.8%)	△15,234 (△1.6%)	—

▶ 前期対比売上高16%増。利益面は前期比大幅増となっているが昨年の費用要因のため。

# 通期予想達成度



	19. 3期	20. 3期	1Q実績	半期予想	通期予想	半期予想 達成率	通期予想 達成率
売上高	3,612	4,333	1,104	2,390	5,000	46.2%	22.1%
営業利益	300	397	34	105	425	32.4%	8.0%
経常利益	280	401	24	110	440	21.8%	5.5%
純利益	131	194	9	40	225	22.5%	4.0%

# 連結バランスシート

		21. 1Q	主な変動要因	20. 3期末	20. 1Q
資産の部	流動資産	2,860,549		3,040,312	2,940,637
	固定資産	1,099,879		1,103,682	714,065
	有形固定資産	215,218		216,890	178,386
	無形固定資産	429,315		438,690	264,920
	投資その他の資産	455,346		448,101	270,758
資産合計		3,960,429		4,143,995	3,654,702
負債の部	流動負債	524,220		712,557	436,123
純資産の部	株主資本	資本金	2,182,379	2,182,379	2,182,379
		資本剰余金	1,430,642	1,430,642	1,430,642
		利益剰余金	△239,883	△249,057	△459,146
	少数株主持分	63,070	67,473	64,703	
純資産合計		3,436,209		3,431,437	3,218,579
負債・純資産合計		3,960,429		4,143,995	3,654,702

▶ 当四半期に大きな動きはない。前期末対比での流動資産、負債の減少は未払金の支払いでバランス

# 連結売上原価 構成比率

※21. 1Q構成比率順 単位:千円

	21. 1Q		前年同期比	20. 1Q		備考
	金額	比率		金額	比率	
外注費	185,354	(28.2%)	+16.8%	158,644	(29.2%)	人的費用の合計 21. 1Q 408百万円 20. 1Q 328百万円 (+24.4%)
労務費	152,987	(23.3%)	+22.2%	125,212	(23.0%)	
通信費	90,048	(13.7%)	+10.4%	81,535	(15.0%)	
ロイヤリティ	73,871	(11.2%)	+6.4%	69,433	(12.8%)	
業務委託手数料	70,169	(10.7%)	+56.2%	44,911	(8.3%)	
減価償却費	19,456	(3.0%)	+50.9%	12,891	(2.4%)	
保守料	18,974	(2.9%)	+1.1%	18,770	(3.5%)	
賃借料	17,555	(2.7%)	△11.3%	19,785	(3.6%)	
ソフトウェア償却	15,618	(2.4%)	△1.4%	15,836	(2.9%)	
地代家賃	13,515	(2.1%)	+9.0%	12,394	(2.3%)	
その他及び他勘定振替	△64	-	-	△16,026	(△2.9%)	
売上原価合計	657,483		+21.0%	543,385		

▶ 通信費の全体に占める割合は減少。

▶ 業務委託の増加は大型案件が主要因で短期的なもの。

## 販売費及び一般管理費主要項目（連結）

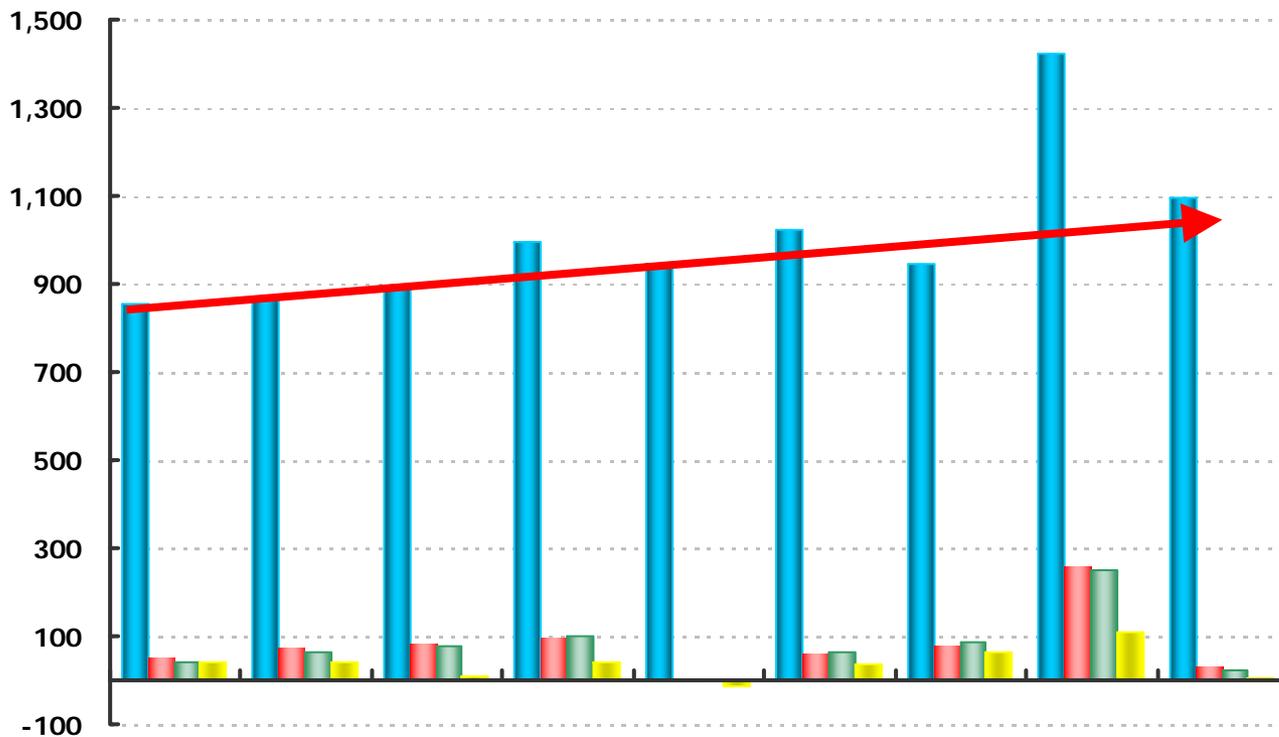
※21. 1Q構成比率順 単位:千円

	21. 1Q		前年同期比	20. 1Q		備考
	金額	比率		金額	比率	
人件費	207,086	(50.3%)	+13.9%	181,867	(45.9%)	
販売促進費・広告宣伝費	24,492	(5.9%)	△29.5%	34,716	(8.8%)	
地代家賃	20,258	(4.9%)	+23.0%	16,473	(4.2%)	
研究開発費	18,513	(4.5%)	+47.7%	12,537	(3.2%)	
株式関係費	16,630	(4.0%)	+36.1%	12,223	(3.1%)	
業務委託手数料	16,604	(4.0%)	+1.6%	16,335	(4.1%)	
支払手数料	14,756	(3.6%)	+116.9%	6,802	(1.7%)	
販売支援費	10,747	(2.6%)	△35.1%	16,570	(4.2%)	
求人費	7,168	(1.7%)	△24.4%	9,480	(2.4%)	
その他 <small>(雑費、旅費交通費、支払手数料、賃借料等)</small>	75,738	(18.4%)	△15.3%	89,430	(22.6%)	
販売費及び一般管理費 合計	411,992		+3.9%	396,433		

◆前年度において1Qに交際費が多かった反動で、当期において人件費率が増加したように見えるが実際は例年並みの水準

(単位:百万円)

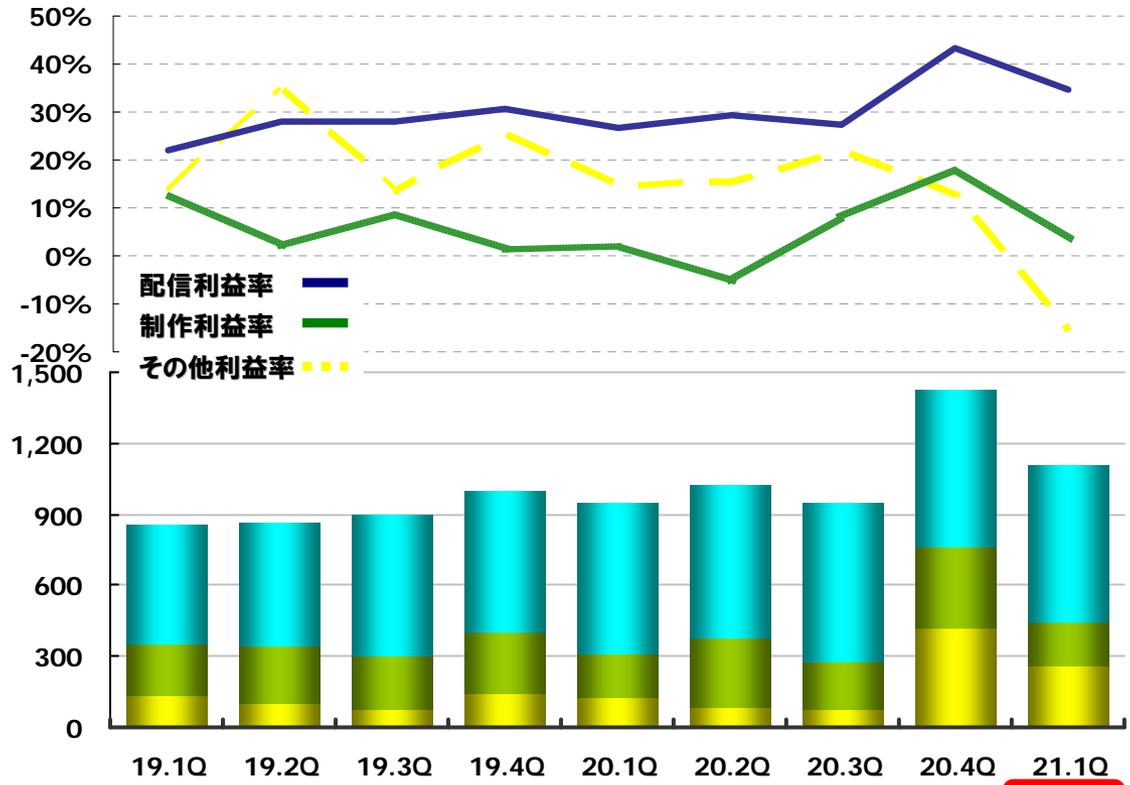
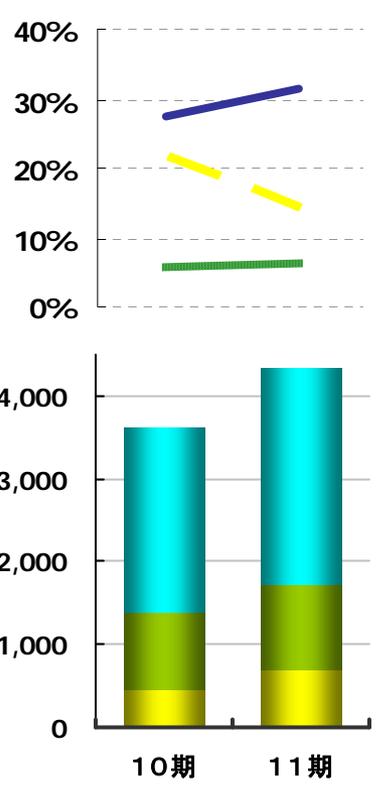
# 四半期別利益推移 (連結)



◆ 1Q: 大型の案件で原価率の悪いものがあつたため  
が利益率が低下。

	19.1Q	19.2Q	19.3Q	19.4Q	20.1Q	20.2Q	20.3Q	20.4Q	21.1Q
売上高	856	863	894	997	944	1,021	946	1,421	1,104
営業利益	51	71	81	98	5	57	78	258	34
経常利益	42	63	76	101	△0	65	89	249	24
経常利益率	4.9%	7.3%	8.5%	10.1%	△0.0%	6.3%	9.3%	17.5%	2.2%
純利益	43	39	8	42	△15	36	66	108	9

# 連結セグメント売上／利益状況



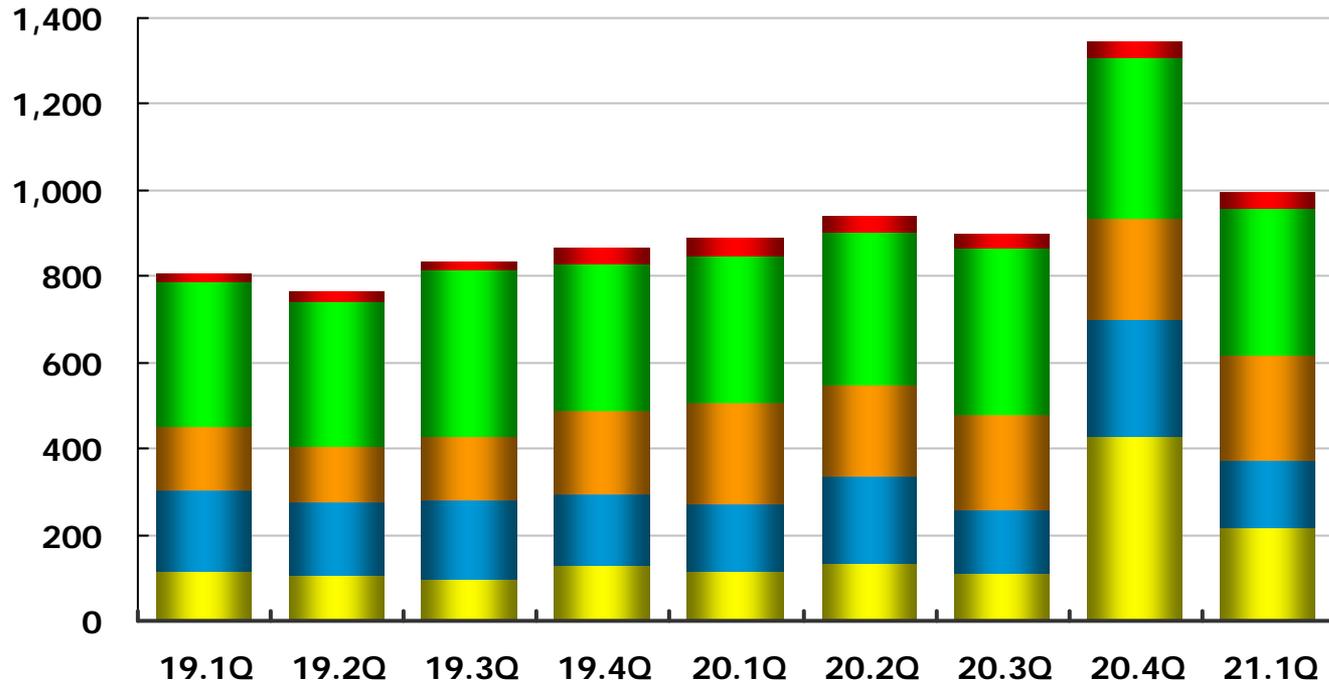
- ◆ 配信事業の利益水準は例年対比高い水準。
- ◆ 制作、開発領域での原価増加(モバイル案件大型関連)が全体に影響している。

	10期	11期		19.1Q	19.2Q	19.3Q	19.4Q	20.1Q	20.2Q	20.3Q	20.4Q	21.1Q
売上高	2,214	2,606	配信	503	518	596	596	636	640	670	659	659
営業利益	27.3%	31.7%		22.3%	27.8%	27.9%	30.6%	26.6%	29.1%	27.6%	43.4%	34.9%
売上高	946	1,022	制作	217	250	219	260	182	293	202	344	183
営業利益	5.9%	6.4%		12.5%	2.2%	8.7%	1.7%	2.0%	Δ5.2%	7.8%	17.9%	3.7%
売上高	451	704	その他	135	97	78	140	125	87	73	417	261
営業利益	21.7%	14.4%		13.5%	34.8%	13.2%	25.2%	14.7%	15.5%	22.0%	12.8%	Δ15.7%
売上高	3,612	4,333	合計	856	865	894	997	944	1,021	946	1,421	1,104

セグメント／費用／利益	売上高	営業利益
配信	659	230
制作	183	6
その他	261	Δ41
消去、 全社		Δ160
	1,104	34

※詳細は決算短信 p.8をご参照ください。

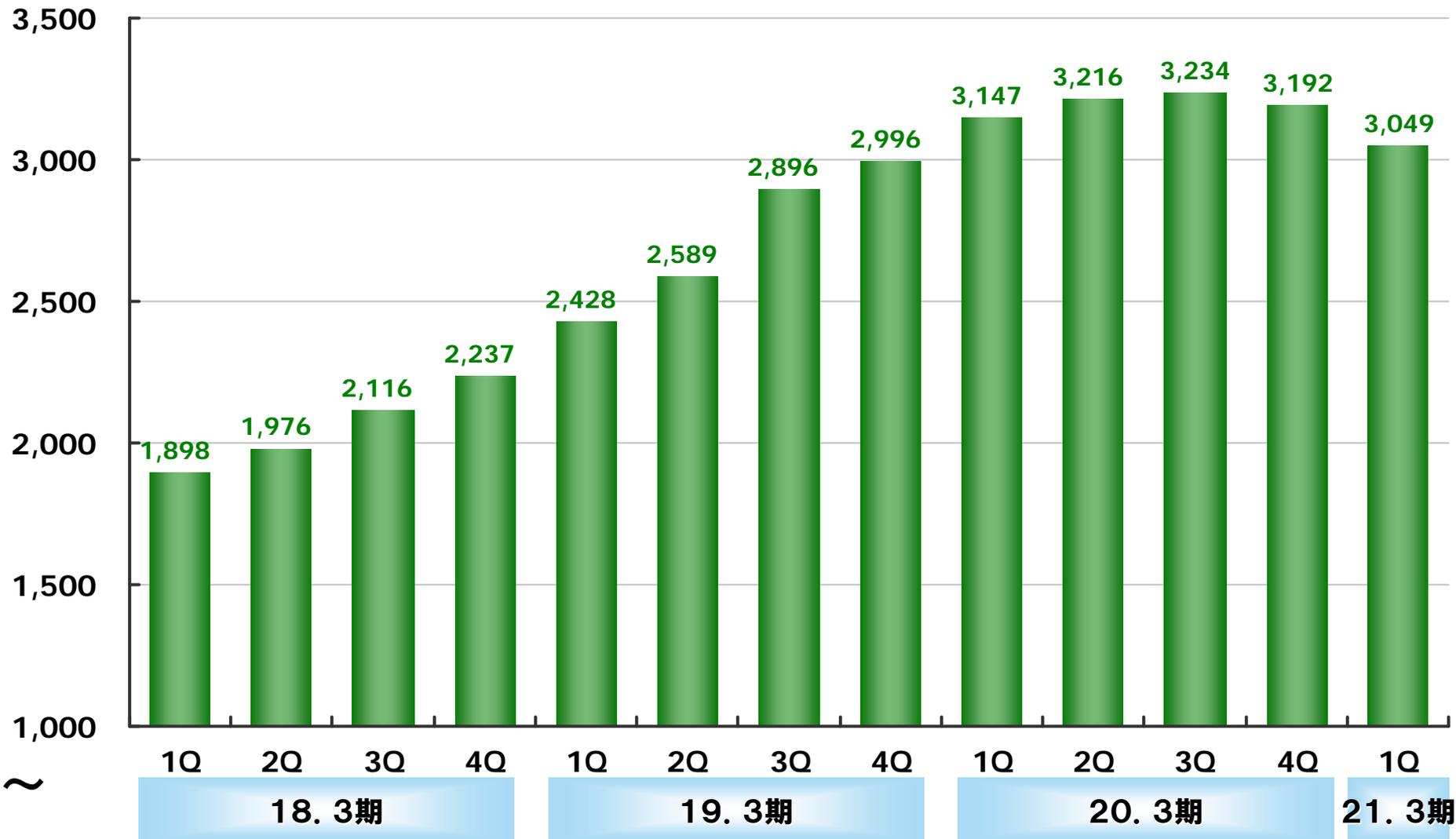
# (参考情報)商品別売上推移(個別)



◆ オンデマンドは安定しているものの積み増しが出来ていない状況。

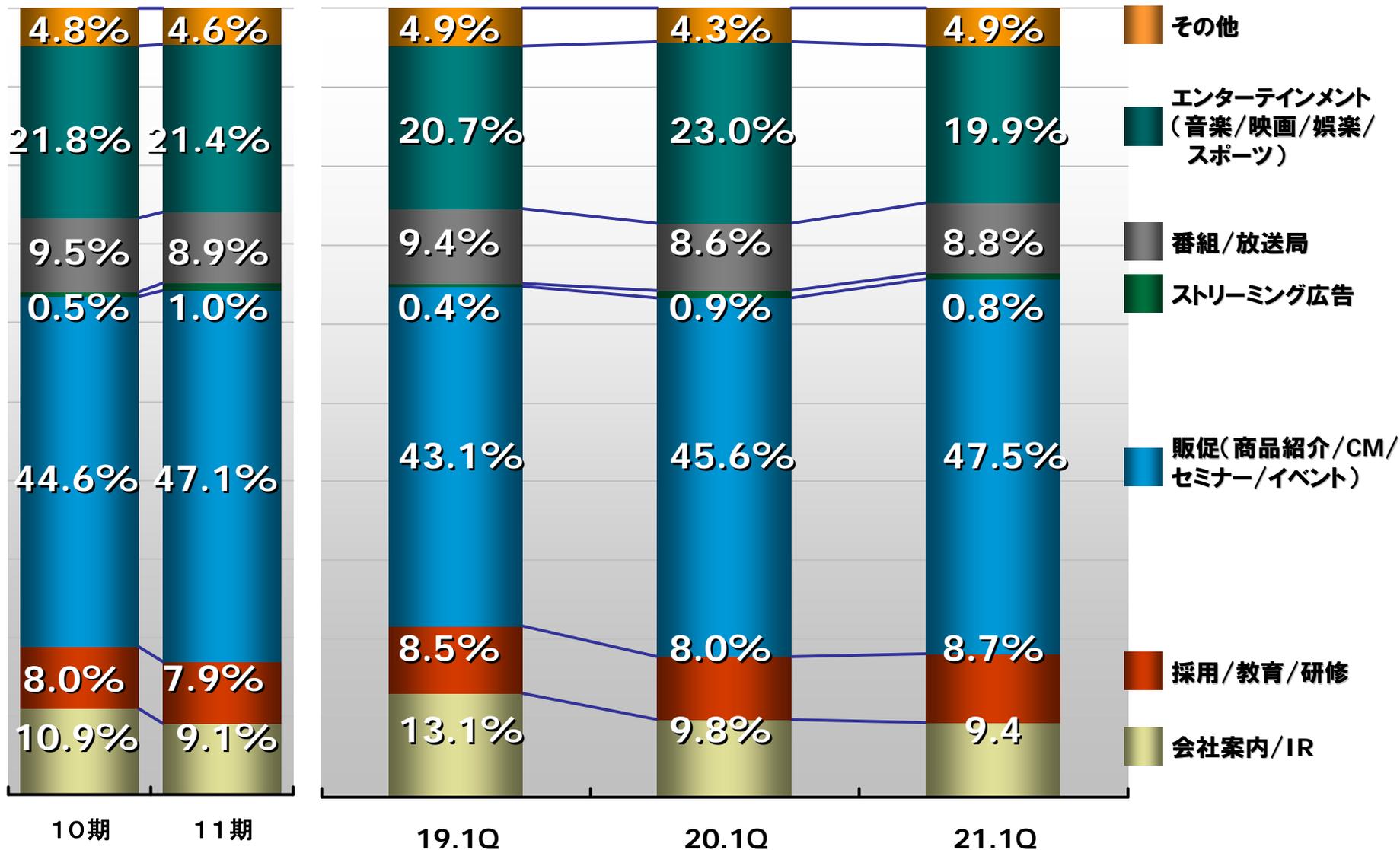
◆ モバイル関連は、大型案件に営業、開発力を割いている一方で増加傾向を堅持しており引き続き好調。

# (参考情報)取引案件数動向(個別)

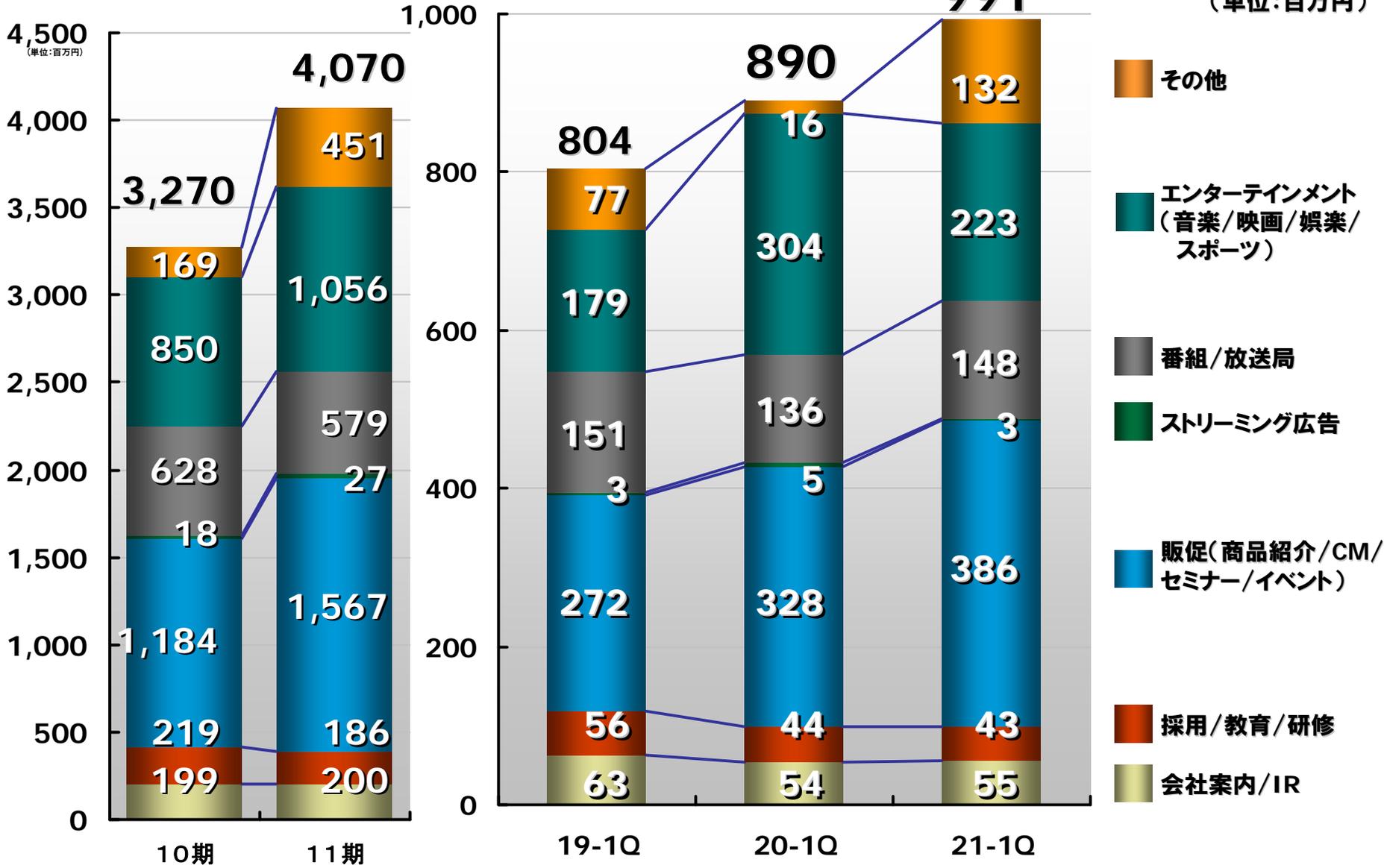


▶ 前四半期より大型案件への体制シフトから案件数は減少。  
 なお大型案件除きで考えた場合、前年同期比で取引単価は改善している。

# (参考情報)利用シーン別取引件数比率(個別)



# (参考情報)用途別売上比率(個別)



▶ 引き続き販促用途の伸びが著しい。

# 投資計画

投資戦略	投資項目	1Q時点実績 (12期計画)
<p><b>サービス強化</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ネットワーク機器/キャッシュサーバ/サーバ 増設、ログ管理強化など 2</li> <li>■ HDなど高品質化対応 1</li> <li>■ モバイル配信サービス強化 17</li> <li>■ 個別サービス強化 (Jフラット、ライブサッカーJ、Webinar 等)</li> <li>■ その他新規事業系 12</li> </ul>	<p><b>41</b> <b>(373)</b></p>
<p><b>社内システム</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 業務支援システム強化</li> <li>■ メールサーバー増強</li> <li>■ J-SOX対応体制</li> <li>■ その他設備・社内用アプリ等</li> <li>■ オフィス拡張に伴う投資</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <p><b>10</b></p> </div>	

▶ 1Qにおいて特定の大型投資はない。

# トピックス

# Brightcove配信プラットフォーム

## ◆日本法人設立(JV)に参加(5/22発表)

Brightcove, Inc (米国法人)

電通

サイバーコミュニケーションズ(CCI)

株式会社Jストリーム

トランス・コスモス



米国、欧州におけるインターネット動画配信プラットフォーム提供サービス市場において、最大のマーケットシェアを有する Brightcove Platform サービスと、Jストリームの動画事業におけるノウハウ、及び、配信プラットフォームを掛け合わせて、日本市場で展開します。

Brightcove Platform は、動画をビジネスに活用するにあたり、必要な機能を全て有しており、これを使うことにより、初期開発投資コストと期間をかけずに容易に本格的な動画事業をスタートすることが可能

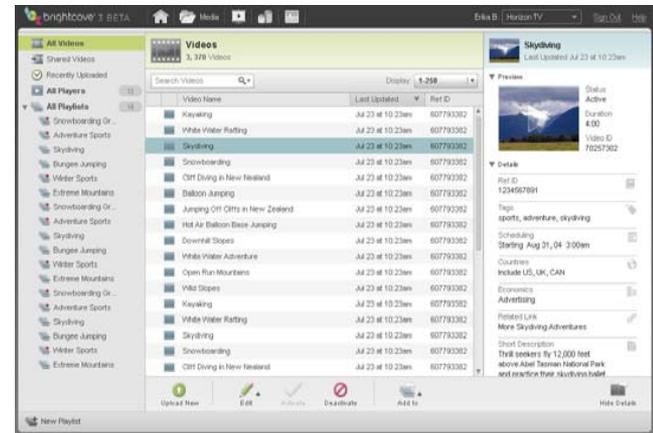
# Brightcove (ブライトコブ) プラットフォームサービス

## 一般企業

自社ブランド・サイトを中心とした動画配信サービスを用い、ユーザーからの注目度や満足度の高い、商品プロモーション、ユーザー・サービスを行いたい。

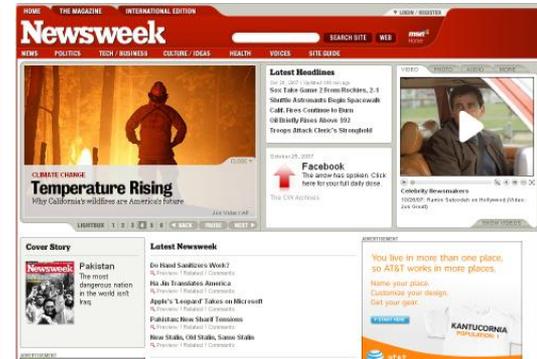
共通のプラットフォームで、

- ◆ 一般企業による自社ブランドサイトの構成
  - ◆ メディア・コンテンツプロバイダーによるコンテンツ配信サイト
- 双方をカバー



## メディア & コンテンツプロバイダー

既存の動画コンテンツ資産や動画制作能力を活かし、自社ブランド・サイトを中心とした動画配信事業を立ち上げ、広告 / 課金モデルと連動した新規ビジネス開発を行いたい。



# その他のニュースについて

## 『民放TV北京オリンピック公式動画 gorin.jp』の各種映像配信インフラを受託

『民放TV北京オリンピック公式動画 gorin.jp (ゴリンドットジェイピー)』は民放テレビ132社共同による日本初のオリンピック映像ネット配信。  
当社はプレゼントキャスト(テレビドガッチ!)を運営中)から受託

- ◆ PC向け配信:負荷分散サービス
- ◆ 携帯電話向け動画配信:「MobaVio(モバビオ)」  
(各種携帯端末に応じた動画の自動変換・配信)
- ◆ 配信サイトの構築:ブライトコーププラットフォーム

『gorin.jp』 <http://www.gorin.jp/>  
配信形式:Flash Video 形式  
ビットレート:750Kbps  
配信内容:各競技のハイライトシーン、日本人選手のメダル獲得シーン、オリンピック関連ニュースなど

サムライワークスと共同し、Flash形式のバイラルプレイヤー配信と効果検証を提供開始

- ◆ Flash Video (FLV)配信サービスに、ブログなど各種に貼り付け可能なプレイヤーと、視聴回数やバイラル配布された流れを計測した結果をオンラインで確認できるレポートシステムを付加

## 各種P2P配信実験を実施

- ◆ 24時間、1か月ノンストップのライブ配信実証実験  
ニッポン放送、インプレスイメージワークス、ウタゴエの各社と協力
- ◆ TVと連動した大規模配信実験  
ウタゴエと協力し、フジテレビの深夜番組「近未来予報 ツギクル」のインターネット特別番組P2Pライブ配信に協力(8月7日深夜実施)

# 第12期業績予想 ～5月発表時点から変更なし～

(単位:百万円)

	通期		上半期	
	連結	個別	連結	個別
売上高	5,000	4,550	2,390	2,170
営業利益	425	410	105	100
経常利益	440	445	110	120
当期純利益	225	240	40	54

※当資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資などの判断を行うことは差し控えて下さい。